

ひよこ通信

編集・発行
なれたファミリー・
サポート・センター
第35号

なれたファミリー・サポート・センターは未来を担う子どもたちの健やかな成長と、安心して子育てのできる地域社会づくりを目指します。感染症対策を講じながら、子育て中のお父さんお母さんを応援していきたいと思ひます。

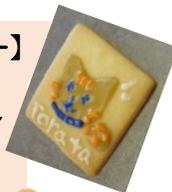
会員交流会

8月21日(水)、「社会福祉法人まごころ」の牛島氏・渋谷氏・土屋氏を講師にお迎えし、アイシングクッキーの作り方を教えていただきました。



【アイシングクッキー】

粉糖と卵白を混ぜて作ったクリーム(アイシング)でデコレーションしたクッキー



～会員交流会の感想をお聞かせください～

- ☆子どもと楽しく作業が出来ました。夏休みの楽しい思い出作りができました。
- ☆おいしそうに出来てよかった。(こども)
- ☆下の子を預かっていただけたので、上の子と良い時が過ごせました。
- ☆普段ファミサポの会員の方にお会いする機会がなかなかないので、お会いできてよかったです。
- ☆絵をかくのはとてもむずかしかったです。でも楽しかったです。(こども)
- ☆親子で参加できてすごく楽しかったです。普段家でクッキー作りはしないので良い経験になりました。特にアイシングクッキーは初めて挑戦しましたが、難しかったけど楽しかったです。家だとイライラしてしまうことも、このような会でやると楽しくできるのでまた次回もあれば参加したいです。
- ☆他の会員さんと話しができてうれしいです。



講師の指導のもと、クッキー生地から作りしました。バターと小麦粉が上手く混ざらず苦戦するグループもありました。生地が出来たら、オーブンに入れ、その間にアイシングの書き方の練習をしました。こどもたちは初めてとは思えないほど、みんな上手にできていた様子です。終始、賑やかで楽しい交流会となりました。

来年度も開催する予定です。協力会員の参加もお待ちしております。





子育て 応援セミナー

イマドキの子育て事情

7月8日(月)、成田市保健福祉館において、なりたファミリー・サポート・センター子育て応援セミナーを開催しました。NPO 法人孫育て・ニッポンの棒田明子氏を講師にお迎えし、「イマドキの子育て事情」をテーマにご講演いただき、地域のみなんで子育て応援できるように、現在のパパ・ママ事情を学びました。



たまご(他孫)育て 10 か条

1. 育児の主演はパパ・ママ、祖父母はサポーター
2. パパ・ママの話聞く
3. 今と昔の子育ての違いを知る
4. とがめるより、補う
5. 他の子、親と比べない
6. 手、口、お金は出しすぎず、心と体力にゆとりを！ 断る勇気を持つ
7. 「ありがとう」「ごめんなさい」を言う。親しき仲にも礼儀あり
8. 孫のほめ役、夢の最強応援団になる
9. 自分のライフスタイルも大切に
10. 老いていく姿を見せる

現代の子育てでは、科学や技術の進歩により、多様な選択肢が生まれ、子どもの個性や意見を尊重することが重視されていると思います。一方、昔の子育てでは、家族状況や地域環境によって子育てのスタイルが異なっていたと思います。今も昔も、子どもを大切に育てようという気持ちは変わっていませんが、昔と今とで異なっている常識を理解しつつ、子育ての応援が必要です。



子育て今と昔、何が変わった？

- * 母乳とミルク
ママのやり方を尊重
- * 抱き癖
抱き癖は気にせず、たっぷり抱っこ。
抱っこは赤ちゃんとの愛着形成、信頼関係を築く
- * うつぶせ寝
乳幼児突然死症候群予防のためうつぶせ寝はしない
- * 離乳食
開始時期、ゆっくり。かみ砕いて与えたり、同じ箸を使わない(虫歯予防)
- * 洋服
厚着する必要はない。フローリングで靴下は滑ることがあるので注意



～ アンケート結果 ～

☆子どもを預かるときに、何が一番心配ですか？

- ・怪我をしない様に遊ばせることができるかどうかとコロナが心配です。
- ・楽しい時間を共に過ごせたか。また会いたいとお互いに思えたらラッキー。これからは私のできることは少しでも役に立ちたいです。
- ・子どもとの相性。

☆セミナーの感想・ご意見お聞かせください。

- ・子どもが少ない時代で、大人と子ども、子ども同士のつながりを大切にして子育てをしたいです。私は周りを頼って、笑顔で子どもと関わりたいと思いました。
- ・いまどきの子育て事情を再確認することができました。
- ・ファミリーサポートは子育て世代にとって、とても良い制度と思っています。自分のできるサポートはほんの小さなことですが…。たまご(他孫)は可愛いです。
- ・託児をいつもありがとうございます。ゆっくりお話を聞いて勉強になりました。
- ・ざっくばらんな棒田さんのお話して2時間楽しかったです。また間を空けて成田にお話しに来てほしいなと思います。



他国の名言

- ☆ひとりの子どもを育てるには、村中みんなの力が必要
(アフリカのことわざ)
- ☆お年寄りと子どもを離してはいけない。彼らを引き離すことは、過去と未来を断つことと同じだ
(アメリカンインディアン言葉)

ご参加ください



協力・両方会員登録時に必須な2時間研修で得られない科目を「応援セミナー」で学んでいただいています。協力・両方会員はご参加くださるようお願いいたします。



救命救急講習会を開催しました！

6月27日(木)、赤坂署救急隊員の三重野氏と熊谷氏を講師に迎え、救命救急の方法を学びました。救命処置(心肺蘇生とAED)、気道異物除去、圧迫止血法の実技を行い、参加者全員に成田市消防本部発行の「普通救命講習Ⅲ修了証」が交付されました。

心肺蘇生法は「強く、速く、絶え間ない胸骨圧迫」が最も重要です。

乳児の胸骨圧迫は指2本で行います。胸の厚さの約3分の1を目安として、十分に沈む程度に圧迫を繰り返します。

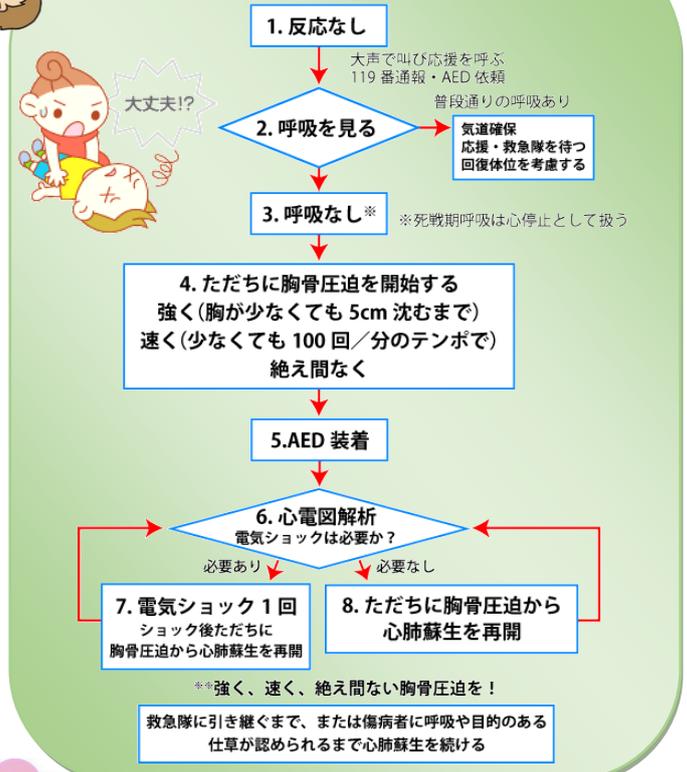


口やのどなどに異物(食べ物など)が詰まって窒息してしまった場合、119番通報をするとともに、直ちに異物を取り除かなくてはなりません。

乳児の場合は背中を力強く連続して叩く「背部叩打法」と、指二本で胸骨の下半分を連続して圧迫する「胸部突き上げ法」の二通りが有効です。受講していれば、いざという時に迷わず対応できますね！



胸骨圧迫のみの心肺蘇生の手順



今年夏、成田市内の屋外プールで倒れた男性を救助したという記事を目にしました。的確な救命処置の連携により命を失うことなく、その後元気に回復されたそうです。

一人でも多くの方に救命救急講習を受けていただきたい！
もしものときに、救えるように！！



なりたファミリー・サポート・センターの協力・両方会員は、救命救急講習の受講が義務化になり、未受講の方はお早めに受講をお願いします。すでに受講済みの方は5年に一度の再受講をお願いします。どうしてもご都合がつかない方は、最寄りの消防署で普通救命講習会を受講し、修了証のコピーを提出していただいても結構です。日程は成田市消防本部のホームページでご確認ください。未受講の方には個別にお葉書でご案内させていただいています。

なりたファミリー・サポート・センターによる次回の講習は11月14日(木)9時~12時です。



センターからのお願い

全会員の皆様へ



★登録内容に変更があったらセンターまで連絡を！

住所や電話番号（携帯電話含む）の変更はありませんか？変更があった場合は、必ずセンターへ連絡をお願いします。（利用会員は成田市外へ引越された場合は退会となりますので、退会のご連絡をお願いします。）

利用会員・両方会員の皆様へ

★サポート依頼は1週間前までにセンターへ！

初めて協力会員にお願いする場合には、安心・安全なサポートを行うため、活動前に必ず事前打ち合わせをする必要があります。依頼した日時が決まり次第、お早めにセンターへご連絡ください。

★サポート前に依頼報告がないと保険が適用されません

利用会員から協力会員に直接依頼したサポートや定期的なサポートについては、必ずサポート前に、電話・FAX・メールのいずれかの方法で利用会員からセンターへご報告ください。活動前に依頼の報告がないと保険が適用されませんので、ご注意ください。

【ご報告いただきたい内容】会員番号・会員名・日時・依頼内容・預けるお子さんの名前・協力会員名

★サポート内容の変更について

年度が変わり、サポート内容の変更はありませんか？変更があった場合、サポート内容によっては、お引き受けできないことがあります。サポート内容を変更した場合はセンターまでご連絡ください。

★キャンセル料について

前日までの取り消しの場合、キャンセル料金は無料ですが、当日の依頼の取り消しは、依頼時間分全額のキャンセル料金が発生します。キャンセルは直接協力会員へご連絡ください。

協力会員・両方会員の皆様へ



★活動報告書の提出期限は翌月の10日です

活動報告書はセンター窓口へ提出をお願いします。他の月とまとめて提出のないようよろしくお願いします。

コーディネーター紹介

今年度も、こちらの3名が対応しています。皆様のお力になれるよう頑張りますので、よろしくお願いします。



担当 職員
平野



コーディネーター
泉



コーディネーター
井越

登録会員数

(令和6年8月末現在)	
利用会員	483人
協力会員	79人
両方会員	24人
総会員数	586人

協力会員
募集中!



成田市社会福祉協議会
なりたファミリー・サポート・センター

TEL0476-27-8010
nfsupport@naritashakyo.or.jp